

## 施工業者様用

### 〈施工説明書〉

# 腰壁(工芸調・ストライプ)

## ドレタスシリーズ

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

## 安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



### 注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

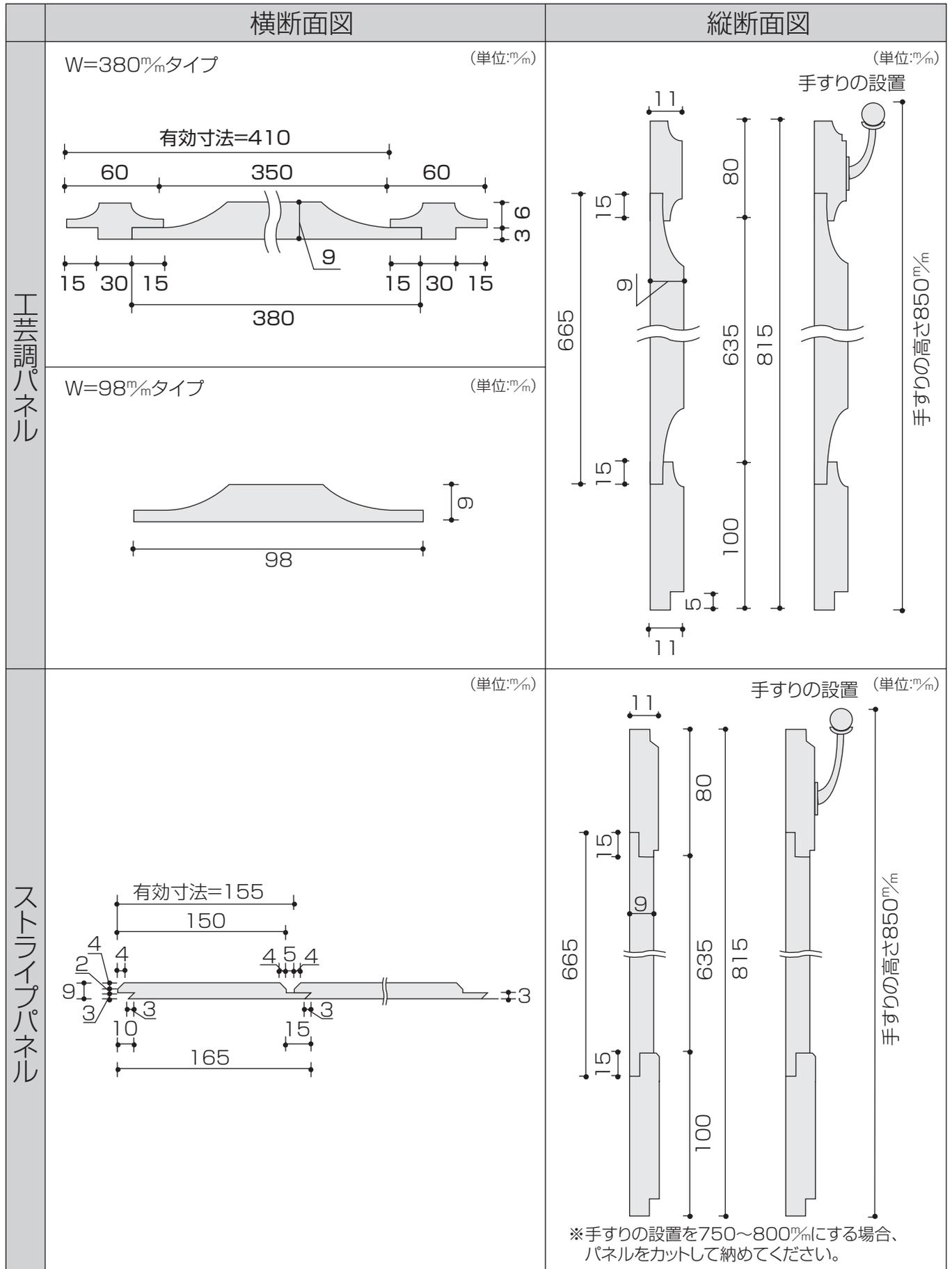


必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながる恐れがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

納まり図

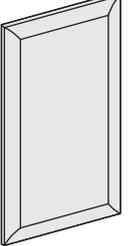


## 梱包内訳表

梱包を開いたら枠材本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

### ■ 工芸調パネル

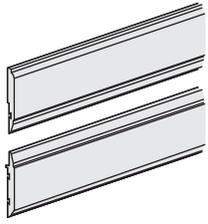
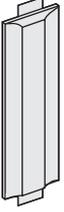
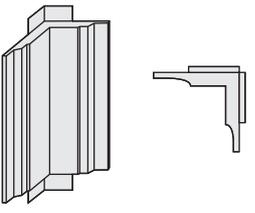
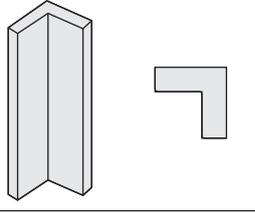
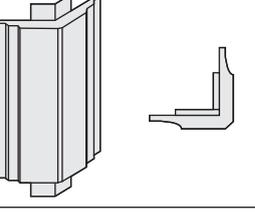
#### 腰壁パネル

	部材名	サイズ (mm)	梱包入数	備考
	腰壁パネル W=380mmタイプ	665×410×9	2枚	縦見切2本同梱・ 両面テープ付
	腰壁パネル W=98mmタイプ	665×98×9	2枚	両面テープ付

※ W=380mmタイプの巾サイズは有効寸法を表示しています。



#### 専用施工部材

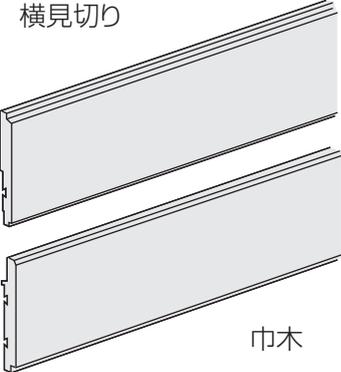
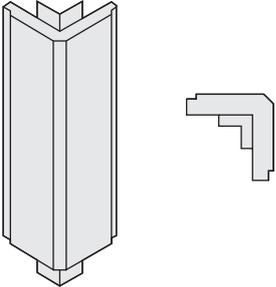
	部材名	サイズ (mm)	梱包入数	備考
	横見切り 巾木 巾木・横見切り セット	横見切り 3900×80×11	横見切り 1本	専用ベース材付・ 両面テープ付
		巾木 3900×100×11	巾木 1本	
	縦見切りセット	665×60×9	2枚	両面テープ付
	入隅材1	665×44×44	1本	両面テープ付
	入隅材2	665×29×29	1本	
	出隅材	665×41×41	1本	両面テープ付

## ■ ストライプパネル

### 腰壁パネル

	部材名	サイズ (mm)	梱包入数	備考
	ストライプパネル	665×165×9	10枚	

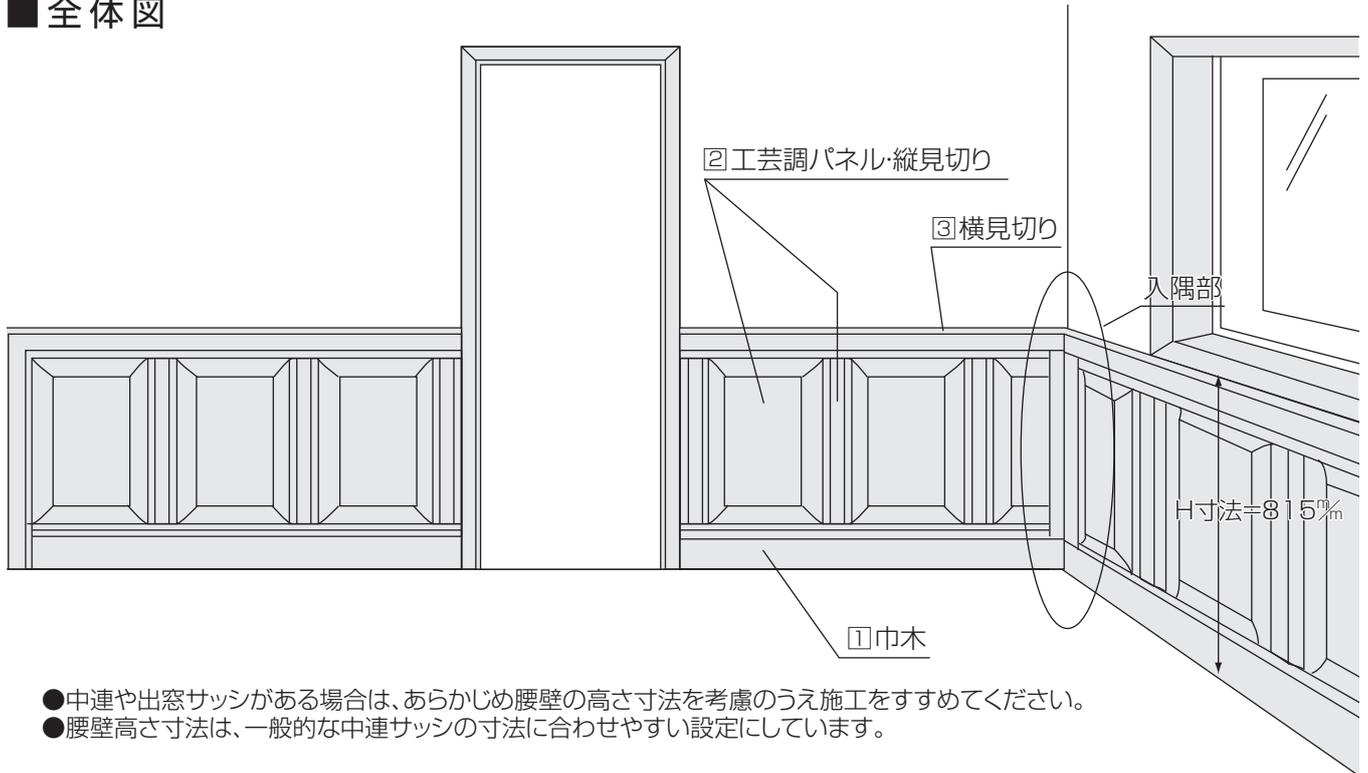
### 専用施工部材

	部材名	サイズ (mm)	梱包入数	備考
 <p>横見切り</p> <p>巾木</p>	巾木・横見切り セット	横見切り 3900×80×11 ----- 巾木 3900×100×11	横見切り 1本 ----- 巾木 1本	専用ベース材付・ 両面テープ付
	出隅材	665×27×27	1本	

### お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

## ■全体図

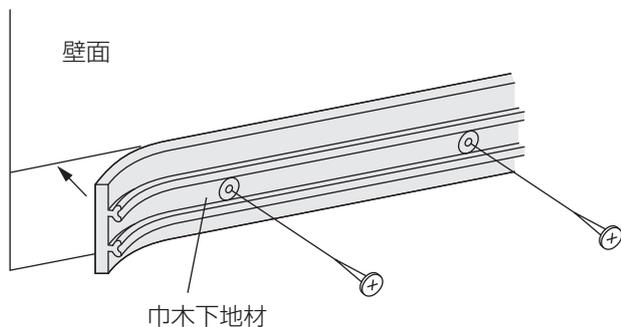


- 中連や出窓サッシがある場合は、あらかじめ腰壁の高さ寸法を考慮のうえ施工をすすめてください。
- 腰壁高さ寸法は、一般的な中連サッシの寸法に合わせやすい設定にしています。

## 施工手順

- 壁面の下地は、9mm合板あるいは12mmの合板下地をおすすめします。  
後施工される場合は、間柱の位置を確認のうえPB下地からボンド併用で施工してください。

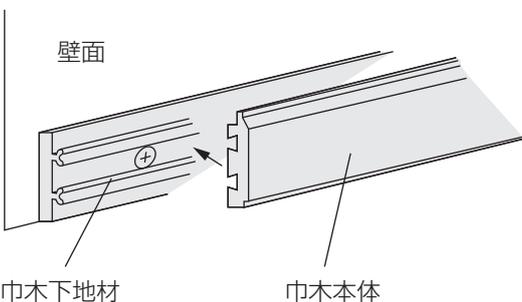
### ■巾木の取り付け（工芸調・ストライプパネル共通）



- (1)床面より80mmの高さに水平に墨出し線を引いてください。この位置が巾木下地材の上端になります。  
下地材の裏面に取り付けてある両面テープで仮止めし、ビスあるいはタッカーで墨出し線にそって取り付けてください。

#### お願い

石膏ボード下地の場合はボード表面のホコリをよく取り除き施工をおこなってください。



- (2)下地材を取り付けた後巾木本体を取り付けてください。

※下地材と本体を取り付けた際、本体がカタカタ動くようであれば、接着剤などを点接着にて塗布し、取り付けてください。

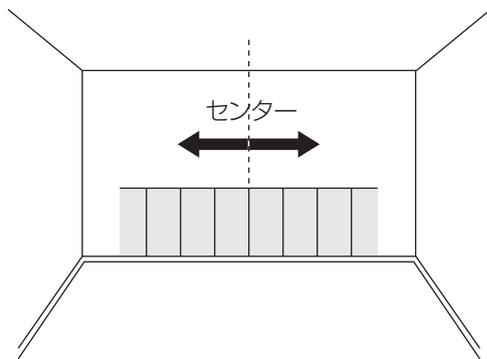
#### ⚠ 注意

巾木下地材と巾木本体の取り付け、取り外しを何度も繰り返すと接続が緩くなることがあります。

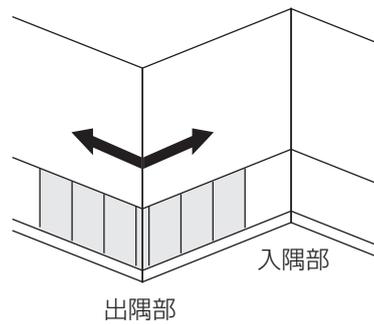
## ■ パネルの取り付け

### パネルの割り付け確認

〈センター割り付け〉

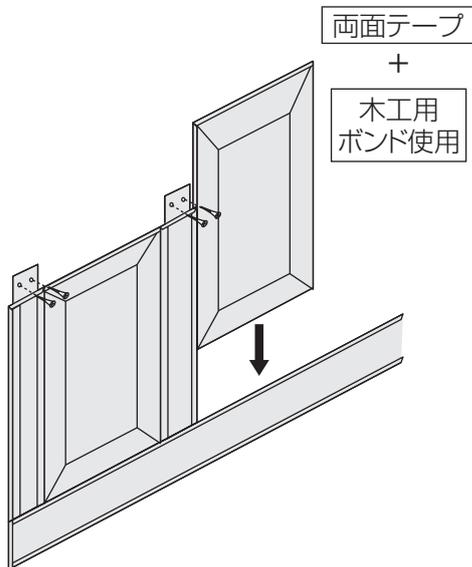


〈出隅からの割り付け〉

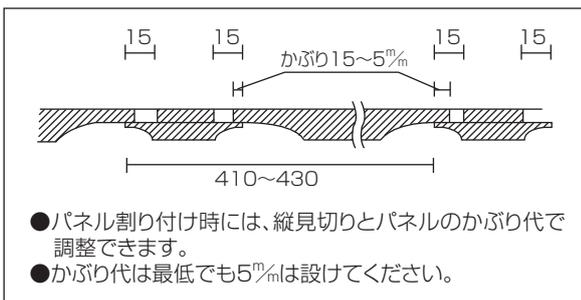


※出隅から割り付ける場合下記の出隅の納まりを参照し、パネルの取り付けの前に入隅を取り付けてください。

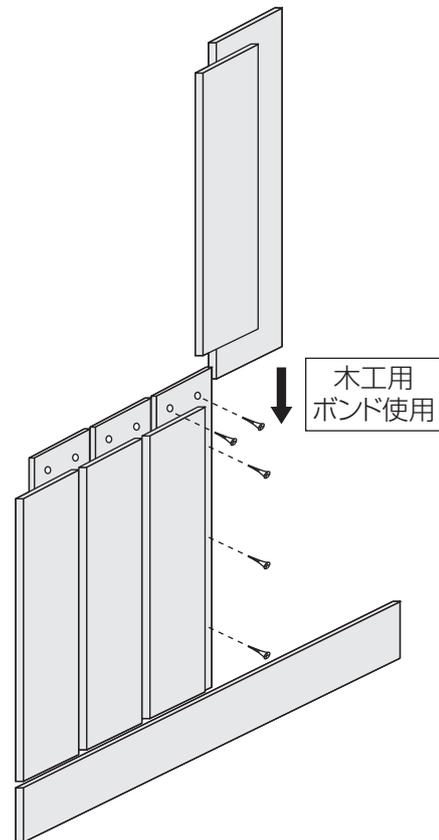
### 工芸調パネル



- (1) パネルと縦見切りを仮並べて、柄を合わせてください。  
※入隅部分でパネルをカットして納める場合、下記の納まり図を参考に入隅2を用いて納めてください。
- (2) 割り付け終了後、パネル、縦見切りの裏面に取り付けてある両面テープをはがし、必ず**木工用ボンドを併用して**、順次取り付けを行ってください。
- (3) 縦見切り取り付けの際、上端の合板下地の部分にビスあるいはタッカーで最低2ヶ所固定してください。



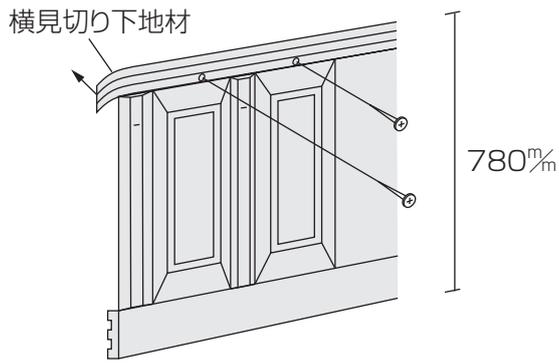
### ストライプパネル



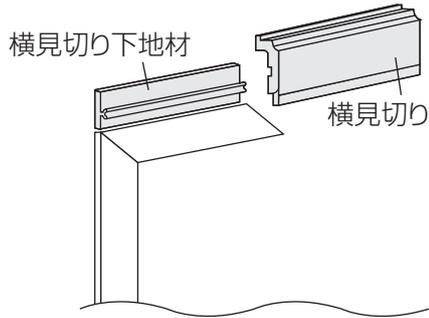
パネルを必ず**木工用ボンド併用**で順次巾木にさしこみ、下地部分をビスあるいはタッカーで固定してください。

※入隅部分はパネルをカットし、つきつけで納めてください。

## ■ 横見切りの取り付け (工芸調・ストライプパネル共通)



- (1)床面より780mmの高さに水平に墨出し線を引いてください。  
この位置が横見切り下地材の上端になります。  
下地材の裏面に取り付けられている両面テープで仮止めし、ビスあるいは  
タッカーで墨出し線にそって取り付けをおこなってください。



- (2)下地材を取り付けた後、横見切り本体を取り付けてください。

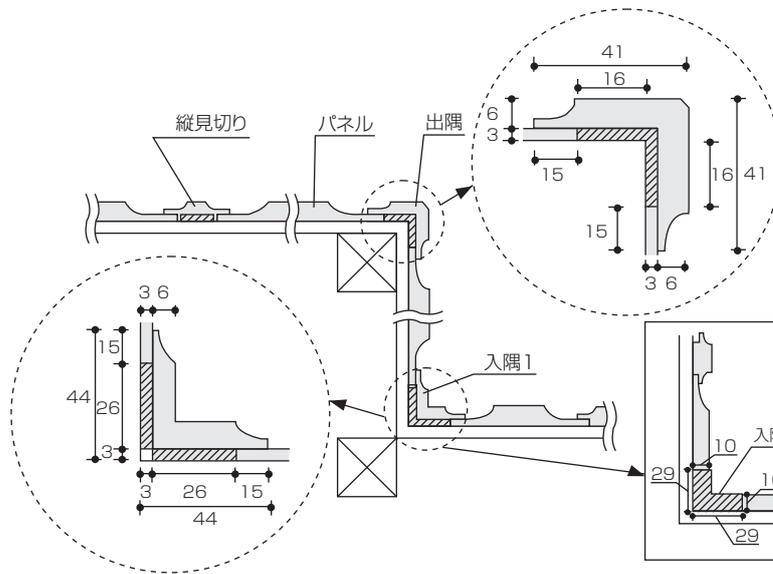
※下地材と横見切り本体を取り付けた際、本体がカタカタ動く  
ようであれば、接着剤などを点接着にて塗布し、取り付け  
てください。

### ⚠ 注意

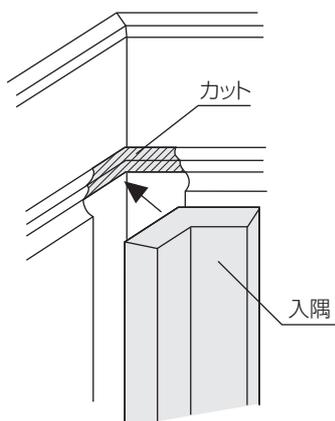
横見切り下地材と横見切り本体の取り付け、取り外し  
を何度も繰り返すと接続が緩くなることがあります。

## ■ 入隅・出隅の納まり

### 工芸調パネル



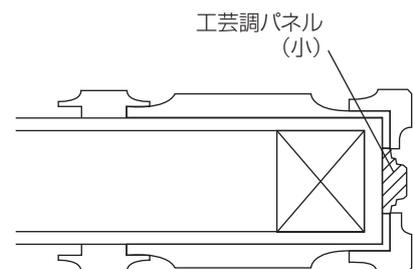
割り付けがきれいに納  
まらない時は、上図のよ  
うにパネルをカットし、  
入隅2を用いておさめ  
てください。



横見切り、巾木の華飾面部分  
を欠き込んだうえで納めてく  
ださい。

※接着剤とフィニッシュネ  
イルなどを併用して取り付  
けてください。

### ■ 工芸調パネル(小)の納め

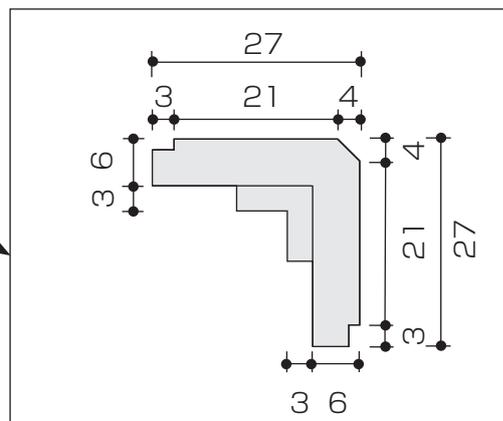
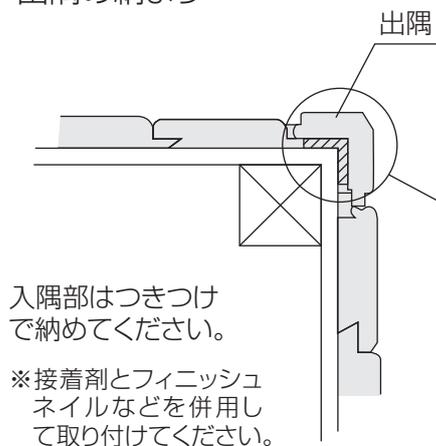


壁の小口方向など入りくんだ納まりの時  
にお使いください。

## ■ 入隅・出隅の納まり

### ストライプパネル

#### 出隅の納まり



## 施工終了後

### ■ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして、養生してください。

### ■ お手入れのしかた

腰壁が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強く擦ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。